

スーパーグローバル大学創成支援事業 中間評価結果

大 学 名	国際教養大学
整理番号	B11
構 想 名	日本発ワールドクラスリベラルアーツカレッジ構想

◇スーパーグローバル大学創成支援プログラム委員会における評価

(総括評価) A	これまでの取組を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
(コメント)	
<p>本構想は、「日本発ワールドクラスリベラルアーツカレッジへの進化」をテーマに掲げ、24時間リベラルアーツ教育の推進や、世界標準カリキュラムの導入等の4つの教育環境整備に向けたプロジェクトを軸に、世界で活躍する人材を育成する取組である。</p> <p>カリキュラムの改善や教授法の工夫といった直接的に学生の学びに関わる面での改革を積極的に行っており、留学生のニーズに沿った教育体制を検討・導入するなど、世界を見据えた施策を実行している。また、教員と学生のみならず、職員のグローバル化向上にも十分力を注いでおり、設定した最終目標に向けて着実に取組を進めていると言える。</p> <p>一方で、全体的に見て、グローバル人材の定義が未だ十分には明確になっていない。今後更に議論を重ね、国際教養大学ならではの定義を示していくことが求められる。</p> <p>「テーマ別ハウス群導入による24時間リベラルアーツ教育」の推進については、日本人学生と外国人留学生の相互交流を進める努力が成されているが、成果としてどのような形に繋がっていくのか、今後の施策に期待したい。また、秋田県が設置する公立大学として、「県内出身入学者数」が計画どおりに充足されていない点については改善が必要である。県内の英語教員の研修にかなりの力を注ぐなど地元への貢献も成されてはいるが、今後の県内出身者の入学促進について、広報の方法等も含めた更なる検討が望まれる。</p> <p>大学の特性やこれまでの実績を活かし、計画した構想を着実に進めている点は評価に値する。グローバルとローカルを繋げる視点により、引き続き他大学のモデルとなるような取組が展開されることを期待する。</p>	